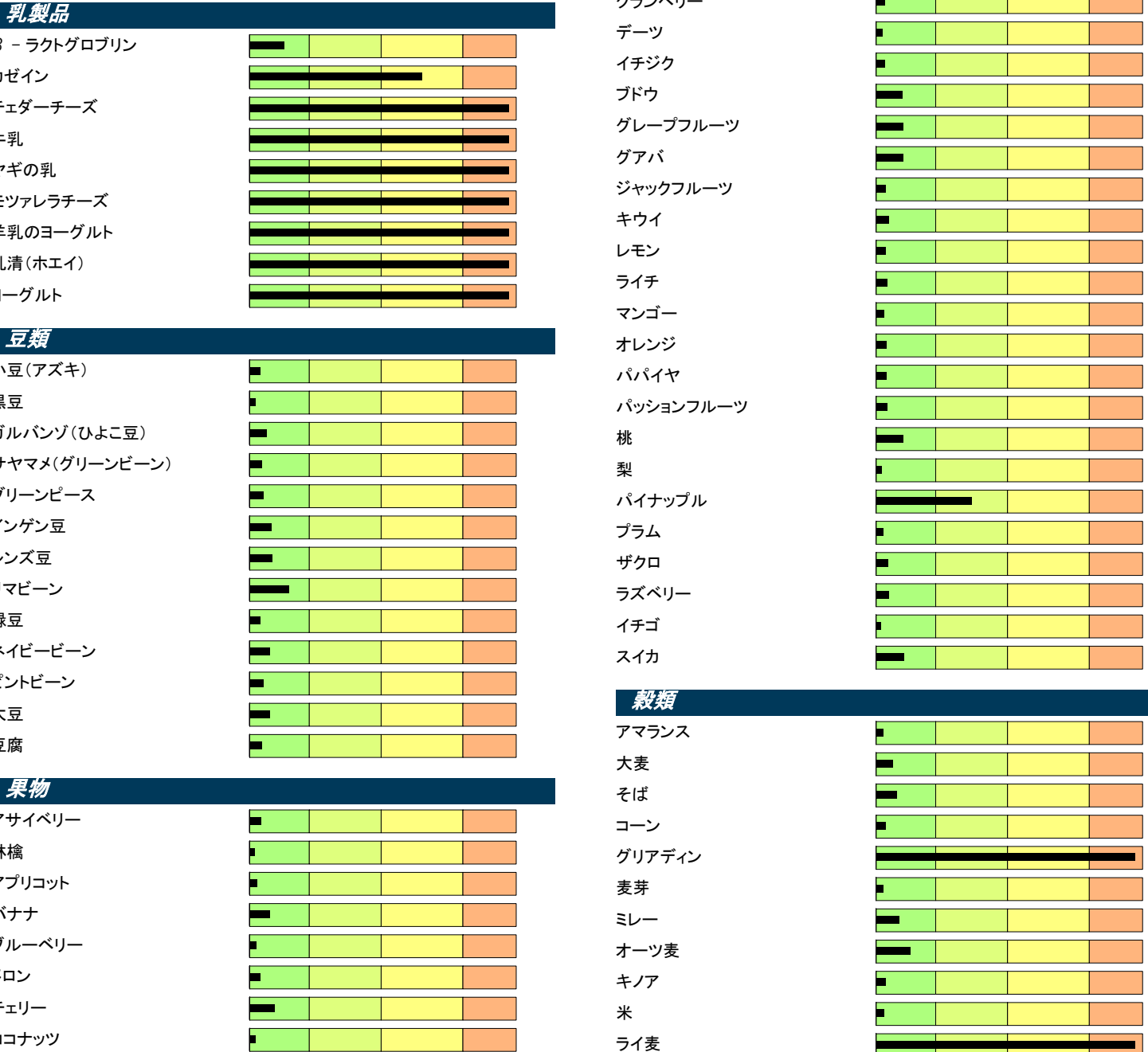


検査番号# : 9900001
 患者氏名 : Report Sample
 患者の生年月日 : Mar 9, 1960
 性別 : F

医師 : NO PHYSICIAN
 検体採取日 : Dec 1, 2022
 採取時刻 : Not Given
 報告日 : Nov 9, 2023

IgGフードMAP(190)-DBS



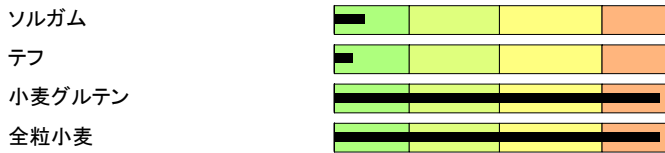
本検査の性能特性は、Mosaic Diagnostics Laboratoryによって検証されています。米国食品医薬品局(FDA)による審査承認は行われていません。

検査番号# : 9900001
 患者氏名 : Report Sample
 患者の生年月日 : Mar 9, 1960
 性別 : F

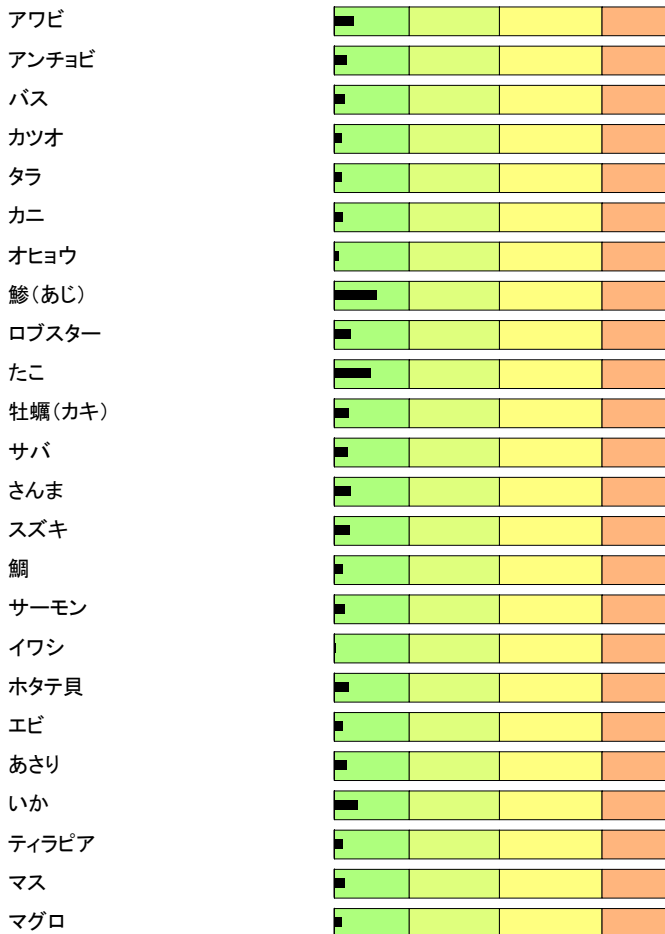
医師 : NO PHYSICIAN
 検体採取日 : Dec 1, 2022
 採取時刻 : Not Given
 報告日 : Nov 9, 2023

IgGフードMAP(190)-DBS

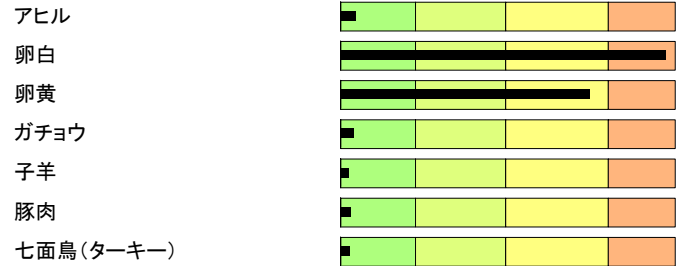
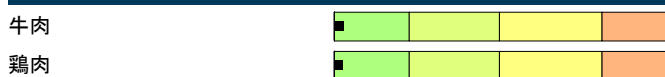
穀類 続き



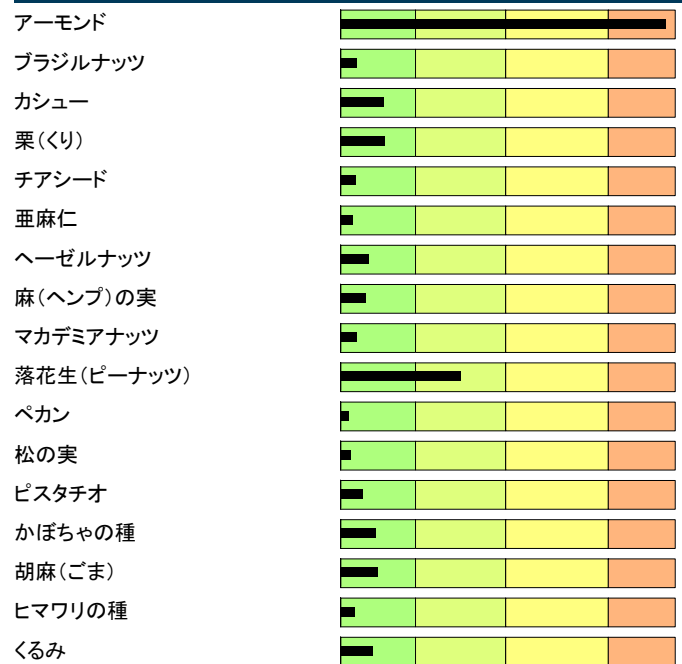
魚/シーフード



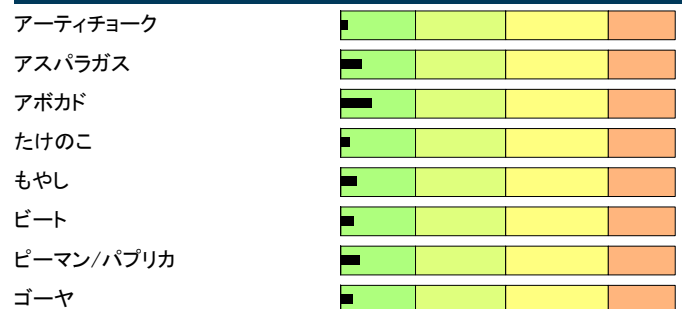
肉/鶏



ナッツ類と種



野菜

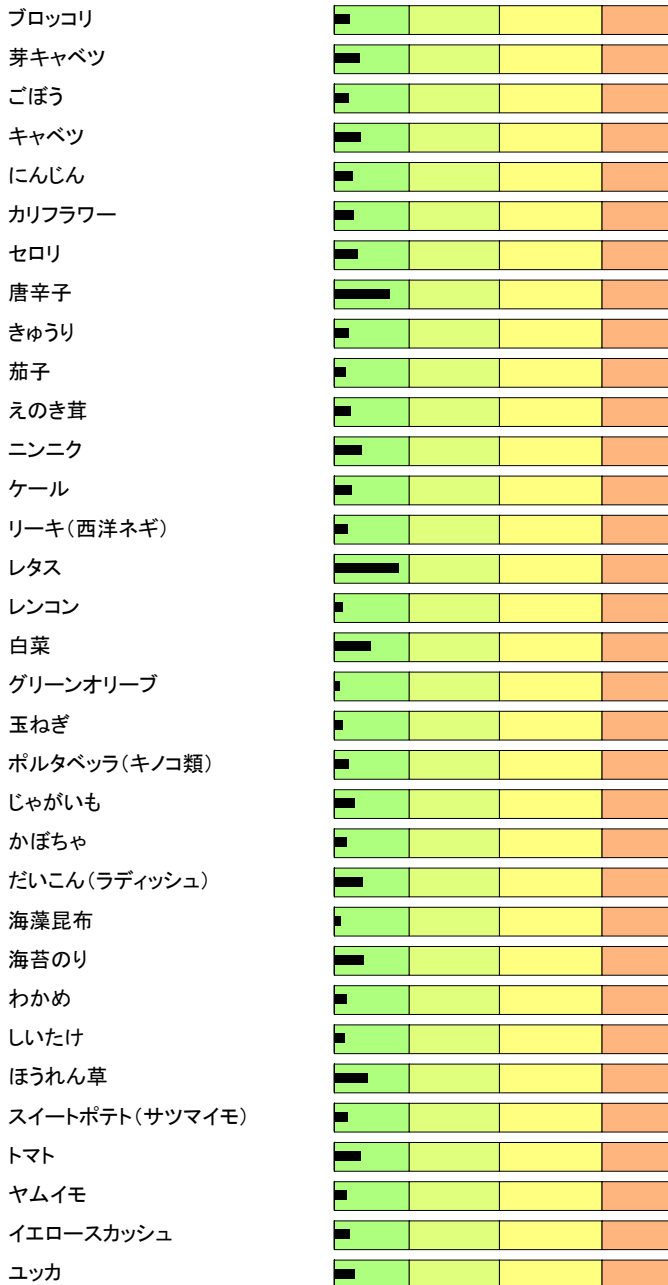


検査番号# : 9900001
 患者氏名 : Report Sample
 患者の生年月日 : Mar 9, 1960
 性別 : F

医師 : NO PHYSICIAN
 検体採取日 : Dec 1, 2022
 採取時刻 : Not Given
 報告日 : Nov 9, 2023

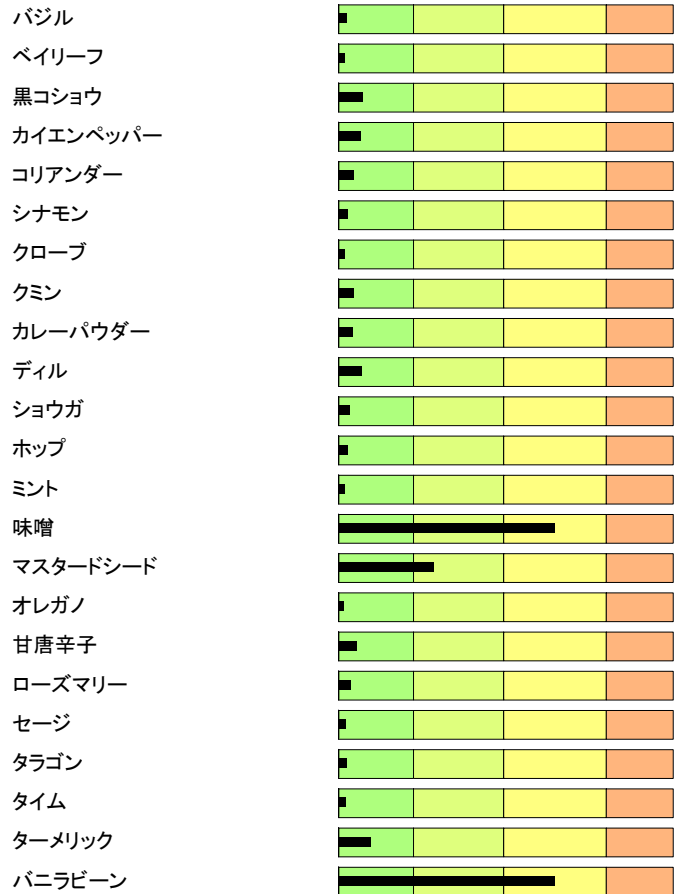
IgGフードMAP(190)-DBS

野菜 続き

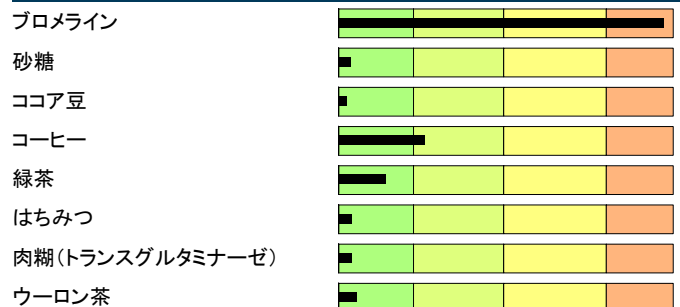


ズッキーニ 

ハーブやスパイス



その他



検査番号#:	9900001	医師	NO PHYSICIAN
患者氏名:	Report Sample	検体採取日:	Dec 1, 2022
患者の生年月日:	Mar 9, 1960	採取時刻:	Not Given
性別:	F	報告日	Nov 9, 2023

IgGフード MAP(190)-DBS

食品抗原スケール
有意でない
低い
中程度
高い

反応性の概要

高い

アーモンド	プロメライン	チェダーチーズ
牛乳	卵白	グリアデイン
ヤギの乳	モツアレラチーズ	ライ麦
羊乳のヨーグルト	小麦グルテン	乳清(ホエイ)
全粒小麦	ヨーグルト	

中程度

カゼイン	卵黄	味噌
バニラビーン		

低い

コーヒー	マスタードシード	落花生(ピーナッツ)
パイナップル		

検査番号# : 9900001
 患者氏名 : Report Sample
 患者の生年月日 : Mar 9, 1960
 性別 : F

医師 : NO PHYSICIAN
 検体採取日 : Dec 1, 2022
 採取時刻 : Not Given
 報告日 : Nov 9, 2023

反応結果の詳細

乳製品

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
β-ラクトグロブリン	IgG	有意でない	2.63	< 4.47
カゼイン	IgG	中程度	34.23	< 13.72
CHEDARチーズ	IgG	高い	43.84	< 9.14
モツアレチーズ	IgG	高い	41.75	< 9.91
ヤギの乳	IgG	高い	31.83	< 6.13
ヨーグルト	IgG	高い	36.90	< 9.25
乳清(ホエイ)	IgG	高い	26.20	< 4.53
牛乳	IgG	高い	32.65	< 8.86
羊乳のヨーグルト	IgG	高い	18.57	< 3.79

豆類

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
インゲン豆	IgG	有意でない	1.67	< 4.47
ガルバンゾ(ひよこ豆)	IgG	有意でない	1.30	< 4.47
グリーンピース	IgG	有意でない	1.08	< 4.47
サヤマメ(グリーンピース)	IgG	有意でない	0.92	< 4.47
ネイビービーン	IgG	有意でない	1.51	< 4.47
ピントビーン	IgG	有意でない	1.04	< 4.47
リマビーン	IgG	有意でない	2.95	< 4.47
レンズ豆	IgG	有意でない	1.73	< 4.47
大豆	IgG	有意でない	1.53	< 4.47
小豆(アズキ)	IgG	有意でない	0.80	< 4.47
緑豆	IgG	有意でない	0.81	< 4.47
豆腐	IgG	有意でない	0.94	< 4.47
黒豆	IgG	有意でない	0.45	< 4.47

果物

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
アサイベリー	IgG	有意でない	0.88	< 4.47
アプリコット	IgG	有意でない	0.61	< 4.47
イチゴ	IgG	有意でない	0.35	< 4.47
イチジク	IgG	有意でない	0.66	< 4.47
オレンジ	IgG	有意でない	0.83	< 4.47
キウイ	IgG	有意でない	0.98	< 4.47
グアバ	IgG	有意でない	2.04	< 4.47
クランベリー	IgG	有意でない	0.70	< 4.47
グレープフルーツ	IgG	有意でない	2.04	< 4.47
ココナッツ	IgG	有意でない	0.44	< 4.47
ザクロ	IgG	有意でない	0.91	< 4.47
ジャックフルーツ	IgG	有意でない	0.71	< 4.47
スイカ	IgG	有意でない	2.15	< 4.47
チェリー	IgG	有意でない	1.89	< 4.47
デーツ	IgG	有意でない	0.50	< 4.47
パイナップル	IgG	低い	9.73	< 7.19
パッションフルーツ	IgG	有意でない	0.88	< 4.47
バナナ	IgG	有意でない	1.50	< 4.47
パパイヤ	IgG	有意でない	0.77	< 4.47
ブドウ	IgG	有意でない	2.01	< 4.47
ブラム	IgG	有意でない	0.55	< 4.47
ブルーベリー	IgG	有意でない	0.53	< 4.47
マンゴー	IgG	有意でない	0.62	< 4.47
メロン	IgG	有意でない	0.83	< 4.47
ライチ	IgG	有意でない	0.87	< 4.47
ラズベリー	IgG	有意でない	0.96	< 4.47
レモン	IgG	有意でない	0.76	< 4.47
林檎	IgG	有意でない	0.41	< 4.47
桃	IgG	有意でない	2.03	< 4.47
梨	IgG	有意でない	0.42	< 4.47

* MFI x 1000

穀類

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
アマランス	IgG	有意でない	0.55	< 4.47
オーツ麦	IgG	有意でない	2.58	< 4.47
キノア	IgG	有意でない	0.72	< 4.47
グリアデイン	IgG	高い	12.62	< 3.83
コーン	IgG	有意でない	0.76	< 4.47
そば	IgG	有意でない	1.57	< 4.47
ソルガム	IgG	有意でない	1.85	< 4.47
テフ	IgG	有意でない	1.09	< 4.47
ミレー	IgG	有意でない	1.75	< 4.47
ライ麦	IgG	高い	12.04	< 2.29
全粒小麦	IgG	高い	17.99	< 3.63
大麦	IgG	有意でない	1.29	< 4.47
小麦グルテン	IgG	高い	12.78	< 2.91
米	IgG	有意でない	0.64	< 4.47
麦芽	IgG	有意でない	0.56	< 4.47

魚/シーフード

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
あさり	IgG	有意でない	0.77	< 4.47
アワビ	IgG	有意でない	1.17	< 4.47
アンチョビ	IgG	有意でない	0.77	< 4.47
いか	IgG	有意でない	1.40	< 4.47
イワシ	IgG	有意でない	0.10	< 4.47
エビ	IgG	有意でない	0.53	< 4.47
オヒョウ	IgG	有意でない	0.29	< 4.47
カツオ	IgG	有意でない	0.44	< 4.47
カニ	IgG	有意でない	0.55	< 4.47
サーモン	IgG	有意でない	0.61	< 4.47
サバ	IgG	有意でない	0.81	< 4.47
さんま	IgG	有意でない	0.98	< 4.47
スズキ	IgG	有意でない	0.92	< 4.47
たこ	IgG	有意でない	2.16	< 4.47
タラ	IgG	有意でない	0.42	< 4.47
ティラピア	IgG	有意でない	0.51	< 4.47
バス	IgG	有意でない	0.64	< 4.47
ホタテ貝	IgG	有意でない	0.86	< 4.47
マグロ	IgG	有意でない	0.44	< 4.47
マス	IgG	有意でない	0.63	< 4.47
ロブスター	IgG	有意でない	0.98	< 4.47
牡蠣(カキ)	IgG	有意でない	0.87	< 4.47
鯛	IgG	有意でない	0.50	< 4.47
鱈(あじ)	IgG	有意でない	2.53	< 4.47

* MFI x 1000

肉/鶏

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
アヒル	IgG	有意でない	0.90	< 4.47
ガチョウ	IgG	有意でない	0.77	< 4.47
七面鳥(ターキー)	IgG	有意でない	0.57	< 4.47
卵白	IgG	高い	35.64	< 5.72
卵黄	IgG	中程度	14.87	< 4.47
子羊	IgG	有意でない	0.48	< 4.47
牛肉	IgG	有意でない	0.58	< 4.47
豚肉	IgG	有意でない	0.62	< 4.47
鶏肉	IgG	有意でない	0.55	< 4.47

ナッツ類と種

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
アーモンド	IgG	高い	9.78	< 1.84
カシュー	IgG	有意でない	2.59	< 4.47
かぼちゃの種	IgG	有意でない	2.11	< 4.47
くるみ	IgG	有意でない	1.91	< 4.47
チアシード	IgG	有意でない	0.92	< 4.47
ピスタチオ	IgG	有意でない	1.31	< 4.47
ヒマワリの種	IgG	有意でない	0.85	< 4.47
ブラジルナッツ	IgG	有意でない	0.98	< 4.47
ヘーゼルナッツ	IgG	有意でない	1.67	< 4.47
ペカン	IgG	有意でない	0.49	< 4.47
マカデミアナッツ	IgG	有意でない	0.97	< 4.47
亜麻仁	IgG	有意でない	0.71	< 4.47
松の実	IgG	有意でない	0.62	< 4.47
栗(くり)	IgG	有意でない	2.66	< 4.47
胡麻(ごま)	IgG	有意でない	2.55	< 2.59
落花生(ピーナッツ)	IgG	低い	7.55	< 4.73
麻(ヘンプ)の実	IgG	有意でない	1.51	< 4.47

野菜

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
アーティチョーク	IgG	有意でない	0.47	< 4.47
アスパラガス	IgG	有意でない	1.27	< 4.47
アボカド	IgG	有意でない	1.87	< 4.47
イエロースカッシュ	IgG	有意でない	0.95	< 4.47
えのき茸	IgG	有意でない	0.99	< 4.47
かぼちゃ	IgG	有意でない	0.74	< 4.47
カリフラワー	IgG	有意でない	1.15	< 4.47
キャベツ	IgG	有意でない	1.58	< 4.47
きゅうり	IgG	有意でない	0.85	< 4.47
グリーンオリーブ	IgG	有意でない	0.33	< 4.47
ケール	IgG	有意でない	1.06	< 4.47
ゴーヤ	IgG	有意でない	0.76	< 4.47

ごぼう	IgG	有意でない	0.86	<	4.47
しいたけ	IgG	有意でない	0.61	<	4.47
じゃがいも	IgG	有意でない	1.24	<	4.47
スイートポテト(サツマイモ)	IgG	有意でない	0.82	<	4.47
ズッキーニ	IgG	有意でない	1.77	<	4.47
セロリ	IgG	有意でない	1.40	<	4.47
だいこん(ラディッシュ)	IgG	有意でない	1.68	<	4.47
たけのこ	IgG	有意でない	0.53	<	4.47
トマト	IgG	有意でない	1.60	<	4.47
にんじん	IgG	有意でない	1.14	<	4.47
ニンニク	IgG	有意でない	1.66	<	4.47
ビート	IgG	有意でない	0.77	<	4.47
ピーマン/パプリカ	IgG	有意でない	1.16	<	4.47
ブロッコリ	IgG	有意でない	0.97	<	4.47
ほうれん草	IgG	有意でない	2.01	<	4.47
ポルタベッタ(キノコ類)	IgG	有意でない	0.85	<	4.47
もやし	IgG	有意でない	0.98	<	4.47
ヤムイモ	IgG	有意でない	0.74	<	4.47
ユッカ	IgG	有意でない	1.23	<	4.47
リーキ(西洋ネギ)	IgG	有意でない	0.83	<	4.47
レタス	IgG	有意でない	3.86	<	4.47
レンコン	IgG	有意でない	0.50	<	4.47
わかめ	IgG	有意でない	0.73	<	4.47
唐辛子	IgG	有意でない	3.33	<	4.47
海苔のり	IgG	有意でない	1.78	<	4.47
海藻昆布	IgG	有意でない	0.42	<	4.47
玉ねぎ	IgG	有意でない	0.53	<	4.47
白菜	IgG	有意でない	2.17	<	4.47
芽キャベツ	IgG	有意でない	1.53	<	4.47
茄子	IgG	有意でない	0.71	<	4.47

ハーブやスパイス

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
オレガノ	IgG	有意でない	0.34	< 4.47
カイエンペッパー	IgG	有意でない	1.36	< 4.47
カレーパウダー	IgG	有意でない	0.89	< 4.47
クミン	IgG	有意でない	0.93	< 4.47
クローブ	IgG	有意でない	0.39	< 4.47
コリアンダー	IgG	有意でない	0.92	< 4.47
シナモン	IgG	有意でない	0.59	< 4.47
ショウガ	IgG	有意でない	0.66	< 4.47
セージ	IgG	有意でない	0.43	< 4.47
ターメリック	IgG	有意でない	1.93	< 4.47
タイム	IgG	有意でない	0.47	< 4.47
タラゴン	IgG	有意でない	0.53	< 4.47
ディル	IgG	有意でない	1.41	< 4.47
バジル	IgG	有意でない	0.50	< 4.47
バニラビーン	IgG	中程度	5.41	< 2.03
ベイリーフ	IgG	有意でない	0.39	< 4.47
ホップ	IgG	有意でない	0.58	< 4.47
マスタードシード	IgG	低い	5.68	< 4.47
ミント	IgG	有意でない	0.36	< 4.47
ローズマリー	IgG	有意でない	0.75	< 4.47
味噌	IgG	中程度	4.36	< 2.39
甘唐辛子	IgG	有意でない	1.09	< 4.47
黒コショウ	IgG	有意でない	1.44	< 4.47

その他

抗原名	分析物	スケール	検査値 *	有意でない
ウーロン茶	IgG	有意でない	1.12	< 4.47
コーヒー	IgG	低い	5.14	< 4.47
ココア豆	IgG	有意でない	0.53	< 4.47
はちみつ	IgG	有意でない	0.79	< 4.47
ブロメライン	IgG	高い	9.86	< 2.71
砂糖	IgG	有意でない	0.72	< 4.47
緑茶	IgG	有意でない	2.81	< 4.47
肉糊(トランスグルタミナーゼ)	IgG	有意でない	0.81	< 4.47

* MFI x 1000

概要

IgGフード MAPは、食品由来の抗原を使用して、190の食品それぞれに対するIgG免疫反応性を評価します。

患者の血清または乾燥血液スポットの検体は、190の食品それぞれからのタンパク質抽出物に導入されます。検査結果は、これらの特定の食品タンパク質に対するIgG抗体のレベルを示しています。食物抗原と患者のIgG抗体の間に食物特異的な結合が発生した場合、結果はグラフ上に反応性の尺度に関連して低、中、または高として表示されます。

IgGフード MAPの結果を使用した、除去食または除外食ダイエットの作成:

IgG反応性食品に対する症状反応だけで特定の食品と結びつけるのは困難です。一部またはすべての反応性食品を排除する食事は、症状を改善する可能性があり、完全な除去食または元素ダイエットほど大変ではありません。IgG反応性食品を食事から取り除くに従い、消化、皮膚の状態、エネルギーレベル、気分、または痛みのレベルの変化を観察することは有用です。

IgGフードMAPは2つの検査結果のレポートでのご提供となります:IgGフードMAP(190品目)及び、IgG酵母菌アレルギーレポート(カンジダアルビカンスとサッカロマイシス・セルビシエ)の2種類です。

酵母の一次抗原はグリカンが豊富で、タンパク質特異的アッセイに適していないため、ELISA法で検査され、場合によっては別の日の送付となることがあります。

***IgGと食事療法に関する追加情報と参照については、次のWebサイトをご覧ください。(英語)www.greatplainslaboratory.com,
Select A Test - IgG***



Congratulations, Report

IgG検査の実施は、健康の向上のためのとても重要な一歩です。結果に基づいた食品ローテーションダイエットは、症状をさらに改善する可能性があります。グレートプレーンズ研究所

The Mosaic Diagnostics.

IgG検査結果に基づいた食品ローテーションダイエット

次のローテーションダイエットは、IgGの結果に基づいて症状を軽減するための取り掛かりの例として示されています。

IgGレベルの上昇を示した食品（中程度または高いカテゴリーのもの）は、食事のローテーションから除外されています。臨床的に重要でないか低いカテゴリーにある食品は、ローテーションに含まれます。このローテーションダイエットは、あなたの結果について臨床的に重要でないか低いカテゴリーである食品を基に作られています。関連する食品群は類似の免疫反応性を持つ類似のタンパク質を共有する可能性が高いため、食品はキャベツ科や魚科などの食品科によってグループ化されています。

ローテーションダイエットは、食品に対する症状などの悪い反応を減らすために推奨される方法です。

一般的に、数日間にわたってさまざまな食品群からの食品を摂取することは、全体的な炎症および毒性負荷を軽減するだけでなく、余計な食品過敏症を発症する機会を減らします。ローテーションダイエットを続ける期間と負荷試験として食品を再導入する時期についてのアドバイスは、医療関係者に相談してください。多くの人は、IgGレベルが正常に戻るには、少なくとも1年以上の食物除去とローテーションが必要です。さまざまな自然食品を食べ続けることは、健康的なライフスタイルの選択をすることです。

ローテーションダイエットは全体的な食物反応を軽減できるかもしれません：

毎日同じような食べ物を食べることは、忙しい生活に取り入れやすくパターン化しがちです。ただし、それは食品の反応性を高める可能性があります。食品をローテーションさせると、免疫システムへの負担が軽減され、全体的な毒素負荷が減少する可能性があります。また十分な栄養と食品の多様性を体に提供します。食物への禁断症状が減り、特定の食物に対する反応の認識が高まる場合があります。食品をローテーションすることは、詳細な食品と症状の毎日の記録が維持されている場合は特に、隠された食品への感受性を明らかにする可能性があります。

本ローテーションダイエットはIgG検査結果のみに基づいていることに注意し、本結果のみでダイエットを実施せず、必ず担当医の指示に従ってください。

食物アレルギーに対するIgE抗体（即時アレルギー）の検査は、たとえ明らかなヒスタミン反応が症状にでていなくても、このローテーションダイエットを始める前に考慮されるべきです。最も一般的なIgE反応は、乳製品、卵、ピーナッツ、またはシーフードにみられます。IgEアレルギーは、小児期に最も一般的であり、成人期までになくなるのがほとんどです。

IgGと食事療法に関する追加情報と参照については、次のWebサイトをご覧ください。（英語）www.greatplainslaboratory.com Select a Test - IgG



あなたの検査結果を基にした、4日間のローテーションダイエット Report Sample

1日目	2日目	3日目	4日目
乳製品			
豆類			
黒豆 サヤマメ(グリーンピース) インゲン豆 ネイビービーン ピントビーン	小豆(アズキ) 緑豆 大豆 豆腐	レンズ豆 リマビーン	ガルバンゾ(ひよこ豆) グリーンピース
果物			
林檎 デーツ ジャックフルーツ ライチ パッションフルーツ 梨	アサイベリー メロン グレープフルーツ グアバ レモン オレンジ ザクロ スイカ	アプリコット ブルーベリー チェリー クランベリー イチジク ブドウ キウイ 桃 プラム ラズベリー イチゴ	バナナ ココナッツ マンゴー パパイヤ パイナップル
穀類			
ミレー ソルガム テフ	アマランス そば オーツ麦 キノア	コーン	大麦 麦芽 米
魚/シーフード			
アンチョビ タラ オヒョウ イワシ	アワビ カニ 鱈(あじ) ロブスター たこ 牡蠣(カキ) ホタテ貝 エビ あさり いか ティラピア	スズキ 鯛 サーモン マス	バス カツオ サバ さんま マグロ

肉/鶏			
牛肉 子羊	鶏肉 アヒル ガチョウ 七面鳥(ターキー)		豚肉
ナッツ類と種			
亜麻仁 松の実 胡麻(ごま)	栗(くり) ヘーゼルナッツ 麻(ヘンプ)の実 ペカン ヒマワリの種 くるみ	カシュー チアシード マカデミアナッツ	ブラジルナッツ 落花生(ピーナッツ) ピスタチオ かぼちゃの種
野菜			
ブロッコリ 芽キャベツ キャベツ カリフラワー ケール 白菜 だいこん(ラディッシュ) スイートポテト(サツマイモ) ヤムイモ	アーティチョーク ビート ゴーヤ ごぼう きゅうり かぼちゃ 海藻昆布 海苔のり わかめ ほうれん草 イエロースカッシュ ズッキーニ	アスパラガス アボカド ピーマン/パプリカ 唐辛子 茄子 ニンニク リーキ(西洋ネギ) 玉ねぎ じゃがいも トマト	たけのこ もやし にんじん セロリ えのき茸 レタス レンコン グリーンオリーブ ポルタベツラ(キノコ類) しいたけ
ハーブやスパイス			
ベイリーフ シナモン クローブ マスタードシード タラゴン	黒コショウ カイエンペッパー ショウガ 甘唐辛子 ターメリック	バジル ミント オレガノ ローズマリー セージ タイム	コリアンダー クミン カレーパウダー ディル ホップ
その他			

その他カテゴリーの食品はローテーションに含まれていません。中程度および高い抗体反応の食物を除去してください。

検査番号#:	9900001	医師	NO PHYSICIAN
患者氏名:	Report Sample	検体採取日:	Dec 1, 2022
患者の生年月日:	Mar 9, 1960	採取時刻:	Not Given
性別:	F	報告日	Nov 9, 2023

IgG アレルギー検査－酵母菌(2) DBSカード



反応性の概要

低い
酵母菌

中程度
カンジダ・アルビカンス

重要ではない	1.00 - 1.99
低い	2.00 - 3.49
中程度	3.50 - 4.99
高い	>= 5.00
サッカロマイセス・セレビシエ酵母菌スケール	

重要ではない	<= 3.49
低い	3.50 - 6.99
中程度	7.00 - 14.99
高い	>= 15.00
カンジダスケール	

カンジダ・アルビカンスのスケールは、カンジダ特異的免疫グロブリンのバックグラウンド値が検査されたほぼすべての個人に存在するという観察結果を含んでいます。これは、その臨床的重要性をより明確に説明することを目的としており、1,000人の患者の無作為の部分集合から得られた人口パーセンタイル順位に沿って確立されています。

本検査の性能特性は、Mosaic Diagnostics Laboratoryによって検証されています。米国食品医薬品局(FDA)による審査承認は行われていません。

検査番号#:	9900001	医師	NO PHYSICIAN
患者氏名:	Report Sample	検体採取日:	Dec 1, 2022
患者の生年月日:	Mar 9, 1960	採取時刻:	Not Given
性別:	F	報告日	Nov 9, 2023

IgG アレルギー検査－酵母菌(2) DBSカード

概要

カンジダ(酵母属)に対する高レベルのIgG抗体:

カンジダは健康全般に重要であるため、カンジダに対するIgG抗体(血清およびDBS)のマーカーが本検査には含まれています。カンジダに対するIgG抗体の存在は、腸の異常増殖の現在または過去の感染が原因である可能性があります。カンジダマーカーの上昇は、免疫系がカンジダと相互作用したことを示します。カンジダ菌および関連真菌種は腸内フローラの通常の構成要素ですが、抗生物質、経口避妊薬、化学療法、または抗炎症ステロイドの使用は、真菌の異常増殖および腸内フローラのバランスを崩す可能性を高めてしまいます。食事の改善や抗真菌療法は、カンジダ抗体を低下させ、症状を軽減する可能性があります。